

山崎達也教授（大学院自然科学研究科）が Best Presentation Award を受賞しました。

3月28日から3月30日に沖縄県の琉球大学で開催された国際会議 ICBAE2018（The 2018 4th International Conference on Biotechnology and Agriculture Engineering）において、大学院自然科学研究科の山崎達也教授の研究発表が Best Presentation Award を受賞しました。

Best Presentation Award は、ICBAE2018 の各セッションの座長が担当する個々の発表を評価し、決定されたものです。本発表は、農業にセンシング技術を導入し、洋ナシ栽培における果実袋内の環境測定を行い、果実袋の特性の違いを明らかにしたものです。新潟県三条市にある洋ナシ生産者の協力を得て、実際のデータ収集を行った数年間のデータを分析して研究結果に基づくものです。今後は、これまで蓄積してきたデータ解析を行い、洋ナシ生産者に分かりやすいデータ可視化や他の果実への応用に取り組んでいく予定です。

発表者： 山崎達也（新潟大学大学院自然科学研究科 教授）

題目： Data Engineering Analysis of Fruit Bug Characteristics for Pear Cultivation

